

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和8年7月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2026
夏号



千葉開府900年



千の葉に 時を刻んで 900年

千葉開府900年を迎えて 歴史と未来をつなぐ千葉市の歩み

千葉市は2026年6月1日、1126年に千葉常重が、この地に本拠を移してから900年という大きな節目を迎えました。この「千葉開府900年記念」は、千葉のまちが誕生した原点を見つめ直す機会としています。未来の千葉市を市民とともに描いていきたいと思ひます。

千葉のはじまりー1126年の「開府」とは何か？

1126年、平安時代末期。下総国を本拠とした武士団である千葉氏は、現在の中央区亥鼻周辺に本拠を移し、政治・軍事の拠点を築きました。これが「千葉開府」と呼ばれる出来事です。この移転を契機に、

- 武士団の家臣団が集住
- 商人・職人が往来
- 交通の要衝として発展
- まちとしての基盤が形成

といった動きが生まれ、千葉の都市としての歴史が本格的に始まりました。

千葉氏はその後、源頼朝の挙兵を支え、鎌倉幕府創設に大きく貢献するなど、武家社会の中で重要な役割を果たしました。その精神は、勇気・忠義・地域への責任といった形で、今日の千葉市の文化や気風にも受け継がれています。

公明党千葉市議団としても、市民とともに歴史を未来へつなぐまちづくりを力強く推進してまいります。



千葉開府900年記念式典会場にて

千葉市の物価高対策

1 生活者向け支援 千葉市キャッシュレスキャンペーン

市民生活の下支えや地域経済の活性化を図るため、市内対象店舗でキャッシュレスのコード決済を利用した場合にポイントを還元するキャンペーンを実施。

対象決済：AEON Pay、au PAY、d払い、PayPay、楽天ペイ

還元率：支払額の最大5%

付与上限額：期間中3,000円相当(1回1,500円相当)

※千葉県が同時期に実施する最大10%をポイント還元するキャンペーンとの併用で、最大15%のポイント還元を受けることができます。(千葉市5%+千葉県10%=最大15%還元)

キャンペーン期間：8月7日(金)～30日(日)(千葉市・千葉県それぞれ予算額到達次第終了)



キャッシュレスキャンペーンコールセンター (フリーダイヤル) 0120-980-098

2 事業者向け支援

中小企業者エネルギー価格等高騰対策支援金(第4弾)

電気・ガス等の物価高騰の影響を受けた事業者に対し、支援金を給付。

給付額：一律11万円/者

申請期間：5月8日(金)～8月31日(月)

※郵送は最終日の消印有効

申請方法：オンラインまたは郵送

給付要件：令和7年4月～令和8年3月の任意の1か月で光熱費(電気・ガス(LPガス含む))、燃料費(ガソリン・灯油など)の合計額が3万円以上。または同期間の連続する3か月で、原材料費・光熱費・燃料費の合計額が月平均50万円以上。

- 法人：市内に本店があること
- 個人事業者：市内に住所または主たる事業所があること
- 今後も市内で事業継続の意思があること



千葉市中小企業者エネルギー価格等高騰対策支援金事務局
TEL 043-201-6800 (平日9時～17時)

3 浄化槽利用世帯等支援

浄化槽(10人槽以下)の定期検査の手数料を助成。

6,000円(定額)※申請不要、1回限り

対象期間：令和8年9月から令和10年2月までの間に実施した指定検査機関による検査

4 上下水道料金の減免(手続不要)

● 下水道使用料

・7月検針分から6か月間 → 基本使用料+10㎡まで無料

● 水道料金(千葉市水エリア)

・7月検針分から6か月間、口径13mm、20mm、25mmの水道料金の基本料金・従量料金ともに2割減免

● 県水エリア(千葉県営水道)

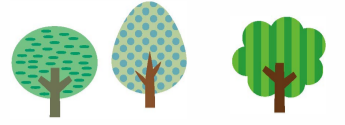
・7月検針分から4か月間、対象・内容は市営水道と同じ

・「マイポータル」登録などで、2か月間延長

● 四街道市給水区域(御成台1～4丁目)

・7月請求分から4か月間、基本料金が無料

資源循環型社会の実現に向けた諸施策の推進 食・水・みどりを資源に変える千葉市の循環戦略



1. 給食の食べ残しを地域の「資源」へ

千葉市では、学校給食から発生する調理くずや食べ残し(給食残渣)を廃棄物ではなく貴重な資源として循環活用する「学校給食残渣再資源化モデル事業」を推進しています。

児童にとって身近な給食を通じて再資源化の仕組みを体験することで、3R(リデュース・リユース・リサイクル)への理解を深め、食べ物を大切にすることを目的としています。

現在、市内6校(各区1校)に、生ごみ処理機を設置し、給食残渣を乾燥処理して堆肥化し、学校や地域での植物栽培に活用する循環を進めています。

段階	内容
① 回収・処理	給食調理員が日々の残渣を処理機へ投入し、一次発酵・保管
② 堆肥化	民間事業者が回収、二次発酵を経て堆肥・肥料へリサイクル
③ 還元	完成した堆肥を学校の校庭・花壇で活用

令和7年度には、6校合計で22,518kg(1日平均約20.4kg)、年間約22.5トンの給食残渣を再資源化しました。教育現場からは「事業を知った子どもたちが、給食を残さず食べようと心がけるようになった」との声も寄せられており、児童の意識にも確かな変化が見られています。

市では令和8年度予算として約363万円を計上し、本事業を継続するとともに、第2次実施計画に基づき、令和10年度末までに実施校を6校から12校へ拡大することを目指しています。

市議団として、給食を起点とした取り組みが、児童を通じて各家庭の生ごみ減量や再資源化への意識向上につながるよう、今後も継続して支援してまいります。



生ごみ処理機の説明を受ける市議団

【用語解説】
給食残渣(きゅうしょくざんざ)とは 給食の調理過程で出る野菜くずや、児童の食べ残しのこと。

2. 下水汚泥を「資源」へ転換する取り組み

南部浄化センターでは、これまで焼却処分していた下水汚泥を「固形燃料」として再利用する固形燃料化施設の整備が進んでいます。下水汚泥は、まず脱水後に蒸気で乾燥させ、続いて酸素の少ない状態で300~400℃の「炭化炉」で蒸し焼きにすることで炭化され、石炭代替燃料へと生まれ変わります。

これにより、廃棄物として処理するだけだった汚泥をエネルギー資源として有効活用できるようになり、焼却灰の処分が不要となることで年間約4,000万円の処分費が削減され、建設費や維持管理費を含めたトータルコストでも従来の焼却方式に比べ約2割の縮減が見込まれています。

また、固形燃料化施設の導入により、市の下水道施設全体で温室効果ガス排出量を約1割削減する効果も期待されています。

今回の整備により、下水道事業における持続可能性が高まり、循環型社会のモデルケースとなる取り組みが実現します。今後も、こうした先進的な取り組みを通じて、持続可能なまちづくりの実現に取り組んでまいります。



固形燃料化施設

市議団視察風景

3. 枝葉や草が「資源」に生まれ変わるまちへ

市議団が後押ししてきた剪定枝・葉・刈り草の収集事業をきっかけに、本市では、これまで可燃ごみとしていた枝葉や草を「資源」として活かす取り組みが広がっています。

回収した枝草等は、民間事業者により木質チップに加工され、法面補修の「マルチスプレッド工法Smart」や、濁水をろ過する「ウッドチップフィルター工法」などに使われ、防災と環境保護に役立っています。

さらに、バイオマス発電の燃料や農畜産資材、製紙原料としても再利用され、廃棄物削減と脱炭素化を同時に進める先進事例として注目されています。



木の枝 (資源収集日のみ次の大きさに出せます)

1本あたり太さ(直径)20cm、長さ100cm以内に切り、ひもで束ねる
※1束は大人が持ち上げられる程度の量にしてください。

刈り草・葉
透明な袋・旧指定袋に入れて排出する
※刈り草の根についた土はよく払ってください。

所属する委員会の紹介

常任委員会									
総務委員会		保健消防委員会		環境経済委員会		教育未来委員会		都市建設委員会	
酒井伸二(中央区)	吉川英二(緑区) (副委員長)	桜井秀夫(稲毛区)	石川美香(花見川区)	森山和博(中央区)	伊藤康平(美浜区)	青山雅紀(若葉区)	茂呂一弘(花見川区)		
議会運営委員会				特別委員会					
森山和博・茂呂一弘				大都市制度調査特別委員会 森山和博・石川美香(副委員長)		防災・減災対策調査特別委員会 酒井伸二(委員長)・青山雅紀		広報委員会 石川美香	

尚、公明党市議団から千葉市監査委員に桜井秀夫議員が選出されました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 FAX.043-245-5584 <https://chibakomei.com/>